

地域福祉学習事業

町内の各小中学校(5校)を指定し、地域ぐるみで生徒・児童を守り育てようとする取り組みを支援することにより、共に支えあう地域社会づくりを推進することを目的に「地域福祉学習事業」を支援しています。

平成25年度 活動実践報告

神戸小学校

【目的】

- 幅広い体験や活動を通して、他を思いやる心を持ち、進んで行動する児童を育成する。

【内容】

5年生

- 障がい者の方の生活の様子や思いを資料や模擬体験などを通して知り、地域の自分たちができることを考え実践することができた。
- 高齢者の方の模擬体験やデイサービスなどの施設について調べることを通して、高齢者福祉に関心を持った。
- 調べて分かったことを資料にまとめ地域の方に伝えた。(校区祭)
- 日本赤十字の活動と連携して、一人暮らしのお年寄りに暑中見舞いを書いた。

【成果】

- 障がいのある方や高齢者の方の疑似体験を通して、福祉の心を養うことができた。
- 自分たちができることを考え、課題意識を持って活動することができた。



目の不自由な方の案内をするには、声だけではなく、体にふれてもらうなどして案内するということの方が分かりました。「真っ暗で怖かったけど、優しく声をかけて案内してくれたから怖くなかった」と言ってもらえてうれしかったです。

何気なく歩いている道にも、目に見えない方が安心して通れるような工夫があります。その一つが点字ブロックだということを学びました。



耳の不自由な方は、会話をするのに手話という方法を使っています。実際にやってみると、難しいということがわかりました。



車いすを利用している方たちがどんなことに困っているのか、車いすに乗ってみて初めて分かりました。車いすを押すのもとても難しいと感じました。乗っている方が怖くないようにするにはどうやって押すといいのかもやってみて学びました。



下宮小学校

【目 的】

- 様々な人とのふれあいや体験的な活動を通して、福祉の心を養い、進んで福祉活動に参加しようとする態度を育てる。

【内 容】

- 自分と立場の違う人のことを理解し、思いやりのある行動とはどんなことを考え、実践意欲を高める。
- 高齢者、視覚障害のある方、妊婦などの疑似体験を行う。課題作り
- 福祉について調べる 福祉とは何か だれもが過ごしやすい世の中にするための道具 盲導犬、聴導犬、介護犬とは
- 福祉にたずさわる方のお話を聞く。お年寄りへの接し方 交流の際の注意点
- デイサービスセンターの訪問
お年寄りとの交流「校歌」「トントンミーの歌の発表」「自己紹介」「レクレーション」施設見学
- 福祉について学んだことをまとめ発表する。

【成 果】

- 実際に福祉にたずさわる方のお話を聞いたり、デイサービスセンターを訪問したことで、調べるだけではわからない実際の姿を知ることができた。自分たちにどんなことができ るのかを考えることができた。
- 高齢者、視覚障害のある方、妊婦などの疑似体験を行うことで、体の不自由な方の気持ちになって考えることができた。課題作りや相手の立場を考えるのに役だった。



南平野小学校

【目 的】

- 福祉活動を積極的に推進し、福祉教育の充実を図る。

【内 容】

- 美化活動
 - 8月に実施。運動場や校内の清掃活動を全校で行った。
- 心の教育推進活動
 - 年間を通して、植物や生き物の世話をし、生命の大切さについて考える指導を行った。
 - グリーンカーテン設置に伴って、プランターの整備や植物の世話等を行った。
 - 校区祭を「お弁当の日」として、家族で弁当をつくり、学校で一緒に食べた。
- 伝統文化・達人の技の継承
 - 地域の達人から学ぶ（クラブ）（茶華道、俳句、絵手紙等）
 - へちま作り、果樹園・農園の栽培活動
- 福祉学習〔社会 総合的な学習 とともに生きる〕
 - 5、6年：障がいをもった方やお年寄りとの関わり方についての体験や調べ学習を行い、11月に発表会を開いた。
 - 子ども支援センター訪問
 - 特別支援学級の児童との交流
- 校区祭での地区巡り
 - 地区ごとに分かれて、地区を巡り、地域の方から伝統文化について話を聞く。
- 地域への訪問・交流を年間を通して実施
 - 1、2年：幼稚園との交流 伝承遊び
- 学校行事への招待
 - 運動会 ・感謝する会 ・校区祭（学習発表会）
- 福祉委員会の活動
 - ペットボトルのキャップ回収 ・アルミ缶回収 ・一円玉募金



幼稚園との交流



福祉学習の発表



感謝する会

【成 果】

- 障がいをもった方やお年寄りとの関わり方についての学習を通して福祉活動に関する理解を深めることができた。
- 地域人材を活用した伝統文化を学ぶ活動や各交流活動、環境の学習・整備をとおして地域の方との触れあいを深めると共に地域を知り、地域を大切にする気持ちをもつことができた。

北小学校

【目的】

- ・高齢者や障がい者とのふれあいを中心とした福祉学習を意図的、計画的に工夫し実践することで、他への思いやる心を育てる。
- ・学校、保護者、地域との連携がより強化され、地域全体で支え合う温かい絆づくりを推進する。

【内容】

- 高齢者や障がいのある方とのふれあい活動の実施（「総合的な学習の時間」等）
 - ・特別養護老人ホーム「りんどう」の訪問
 - ・高齢者や障がい者の生活疑似体験活動
 - ・人権学習（ひびきあいの学習）
 - ・学習発表会で学んだことを発表
- 祖父母参観・ふれあいの教室など学校行事等でのふれあい活動
 - ・祖父母や公民館関係の講師、見守り隊の方との交流
 - ・登下校時における見守り隊の方との交流
- 異年齢集団による交流
 - ・1年生と北幼稚園の交流（軽スポーツ・伝承遊び）
 - ・ゆ〜ゆ〜班によるふれあい活動（大縄跳び等）
- 授業（クラブ・総合的な学習の時間）での地域や保護者の方とのふれあい活動
 - ・クラブやおはなしひろばにおける講師
 - ・野菜や米作りにおける体験活動
 - ・町探検での交流（1〜3年生）
 - ・音楽療法や太鼓の活動における特別支援学級の支援



【成果】

- ・高齢者や障がい者とのふれあいや疑似体験等の活動をととして、高齢者や障がいをもつ方への理解を深め、自分ができることは何かを考えることができた。
- ・学校と保護者や地域との連携がより強化され、地域全体で支え合う温かい絆づくりが推進できた。
- ・幼稚園や異年齢集団との交流を通して、異なる立場を理解し、他者を思いやる心が育ってきた。
- ・特別支援学級や特別に支援を要する児童への指導の在り方を学ぶことができた。

神戸中学校

【目的】

- ・福祉委員会を中心に、町内障がい者施設との交流を行い、思いやりの心を育てる。
- ・地域の掃除、行事への参加、ボランティア活動への参加等を通して感謝の心を育てる。
- ・植物を育て、役立てることを通して、生命を大切にする心を育てる。

【内容】

1. 「もちのき園」との交流（入所者との交流、作品づくり）
2. 校内植物育成並びに、「もちのき園」への寄贈
3. 農作物づくりと販売実習（特別支援学級生徒による）
4. 地域行事ボランティア活動（山王祭、どんとこい祭り）



農作物の栽培



育てた花を「もちのき園」へ贈呈



「もちのき園」ボランティアの様子

【成果】

- ・町の社会福祉施設「もちのき園」で福祉委員の生徒を中心に交流し、作品づくりを行った。作品は園のパザールに出品し好評を得た。参加した生徒も社会貢献の意義を実感することができた。
- ・卒業式式場を飾る生花を各教室で育て、当日の式場に飾った後、生徒代表が「もちのき園」に寄贈した。園のつながりを継続するとともに、福祉への意識を高めることにつながった。
- ・校内の畑で、特別支援学級の生徒が中心となって育てた作物を販売体験した。また地域の行事のボランティアに参加し、地域の一員としての自覚を持たせることにつながった。